

項目	委員意見のまとめ	項目	ワークシート
目的	<ul style="list-style-type: none"> ●まちづくり、人づくり ●支える・享受する機会 	目的	
理念	<ul style="list-style-type: none"> ●人々の感性を育む ●人としての品格を育む ●創造性豊かに ●新たな時代に対応 ●子どもや若い世代に重点を置き、持続のための文化芸術の重要さの認識や理解形成を促す ●文化芸術が高齢者・子ども・障がい者・外国人等全ての人の権利として保障されている ●生活環境の中で自然に触れられるようにする 	理念	
文化の範囲 (何を)	<ul style="list-style-type: none"> ●文化芸術の範囲 →広く捉え、絞らない ・メリット:社会情勢等の変化による各分野の重要度や範囲の考え方への影響に対応可 ・デメリット:具体的に何を対象としているのかわかりづらい 	文化の範囲 (何を)	
対象 (誰に向けて)	<ul style="list-style-type: none"> ●ゼロ歳児～高齢者、外国人、障がい者 ●受益者、演者(市内で活動する個人、団体含む) ●全ての人 	対象 (誰に向けて)	
役割 (主体)	<ul style="list-style-type: none"> ●市民 ●行政 ●団体 ●財団 	役割 (主体)	
どのように (実現するための 仕組み)	<ul style="list-style-type: none"> ●財政、資金 ●計画 ●推進委員会、振興会議、審議会等の計画立案・評価機関の設置 	どのように (実現するための仕 組み)	
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ●多摩市らしさ 	特徴	

【多くの意見があったワード】

・子ども(ゼロ歳児含む) ・継続性 ・具体性 ・創造性 ・全ての人の権利 ・本物に触れる体験
 ・生活の中で自然に触れる ・担い手 ・資金の確保・人づくり

【委員意見等からの留意点】

■①多様な視点で考える事②対象はゼロ歳児を含め、高齢者・若者・外国人・障がい者など幅広いこと③文化芸術の振興・推進のために、どう後押しするかを具体的に進めるため、計画や財政的なことを考えること
 ■誰にとってどのような後押しになる条例なのか、わかるようにする
 ■全ての市民を公平平等に多様な参加をあらゆる機会で行っていき「市民文化」と、都市の個性をつくるための選択と集中を行っていき「都市文化」、この2つを区分けして政策を作っていく。さらに人格形成、尊重という市民文化の実現も考慮する。